

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		言語聴覚士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		心理学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限	前期 月曜3時限	教室名	4校舎401教室
担 当 教 員		小川正子	実務経験と その関連資格	医療法人杏嶺会上林記念病院心理療法科に勤務。公認心理師。			
《授業科目における学習内容》							
人間の行動の原動力となる心の働きに注目し、そのメカニズムについて学び、理解する。臨床における心理の技法についての基礎知識をみにつける。							
《成績評価の方法と基準》							
内規に定めた通りとする。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
教科書:「言語聴覚士のための心理学第2版(医歯薬出版株式会社)」 参考図書:「言語聴覚士テキスト(医歯薬出版)」							
《授業外における学習方法》							
配付資料を見直し、言語聴覚士国家試験問題の関連領域を読むこと。							
《履修に当たっての留意点》							
心理学の研究領域を概説するが、言語聴覚士にとって心理学の一部を学ぶ意義を理解してほしい。							
授業の方法		内 容			使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神物理学に関する理論の違いを理解し説明できる。			配付資料 PC プロジェクター	言語聴覚士国家試験問題の該当する分野の問題を読み、理解することができる。
		各コマにおける授業予定	「心理学の歴史と心理学の視点①」心理学史を通して、心とは何か、心理学における心を理解する視点を学ぶ。				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヴェント、ゲシュタルト心理学、行動主義、人間性心理学それぞれの立場による心について理解し説明できる。			配付資料 PC プロジェクター	事前に過去問題を配布するので、読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「心理学の歴史と心理学の視点②」心理学史を通して、心とは何か、心理学における心を理解する視点を学ぶ。				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚と知覚の現象に関連する用語を挙げることができる。			配付資料 PC プロジェクター	用語の確認小テストを実施するので、配付資料を復習すること。
		各コマにおける授業予定	「感覚と知覚の現象」前回の続きと、認知の働きについて概説する。過去問を読み、理解度を確認する。				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶の種類を挙げることができる。			配付資料 PC プロジェクター	参考図書の該当箇所を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	知覚は経験(記憶)に依存する。記憶の種類について学ぶ。				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を読み、内容を理解し説明できる。			配付資料 PC プロジェクター	過去問題を読むため、配付資料に目を通し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	記憶に関連する過去問を読み、理解度を確認する。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	古典的条件づけとオペラント条件づけの違いを説明することができる。	配付資料 PC プロジェクター	参考図書の該当箇所を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「学習心理学①」特に条件づけの理論を概説する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	条件づけに関する過去問を解くことができる。	配付資料 PC プロジェクター	条件づけの小テストを行うので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「学習心理学②」条件づけ以外の代表的な学習理論について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士国家試験に準ずる問題を解くことができる。	配付資料 PC プロジェクター	これまでの配付資料を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「中間テスト」これまでの授業を振り返り、言語聴覚士国家試験に出題される領域を中心にテストを行い、理解の定着を図る。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	動機の種類をあげることができる。	配付資料 PC プロジェクター	参考図書の該当箇所を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「欲求と動機①」行動を引き起こす欲求と動機、動機づけについて学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士国家試験過去問を読み、理解して説明することができる。	配付資料 PC プロジェクター	参考図書の該当箇所を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「欲求と動機②」前回に続き欲求と動機について学び、過去問を読み、理解を深める。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情の種類とその内容を結び付けて説明できる。	配付資料 PC プロジェクター	欲求、動機、感情領域の過去問題を実施するので、資料を読んで復習すること。
		各コマにおける授業予定	感情状態が行動に及ぼす影響は大きい。感情に関する理論と行動に影響を及ぼす機能について概説する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティに関する理論の違いを理解し説明できる。	配付資料 PC プロジェクター	参考図書の該当箇所を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	我々は他者の言動から、その人のパーソナリティを把握する。心理学にはどのような理論があるのか概説する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団の心理、リーダーシップ理論に関係する用語を挙げることができる。	配付資料 PC プロジェクター	配付資料を読んで復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「社会心理学」集団が個人の心理に及ぼす影響やリーダーシップ理論について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	当該範囲の言語聴覚士国家試験過去問を読み、理解して解くことができる。	配付資料 PC プロジェクター	参考図書の該当箇所を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「認知心理学」思考、問題解決、推論、それぞれの思考のプロセスについて学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	当該範囲の言語聴覚士国家試験過去問を読み、理解して解くことができる。	配付資料 PC プロジェクター	エリクソンとピアジェに関して、参考図書の当該箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「発達心理学」研究領域および国家試験ではどのような出題傾向があるのかについて学ぶ。		